



発刊によせて

上田市長 母 袋



このたびは、「手塚誌」の発刊、まことにおめでとうございます。

地域の歴史を正しく伝え、文化を継承していくことは、地域の文化の発展にとって実
おもいます。

上田市の文化活動の拠点として、現在建設を進めております交流文化施設も、今年の
の容姿を徐々に現し、平成二十六年秋のオープンを目指して順調に準備を進めていると
が日頃から呼びかけている「文化の薫るまちづくり」を実現し、上田市が真の意味で文化都市となるためには、市民
の文化活動の実践を通じ、人生のすべてのステージにおいて輝きながら生きていかれることが、何よりも大切なこ
とです。

平成十八年に四つの市町村が合併して発足した新生上田市にとって、互いの文化や伝統を尊重しつつも、一体とな
市の文化を創造していくためには、それぞれの地域で育まれてきた文化や伝統を、その地域の特性を残しながら次世
いくことが必要です。

こうした考えから、平成二十年に「上田市文化芸術振興に関する基本構想」を定め、その構想の中で、「歴史と風土
のための学習活動の展開を掲げました。これは、まず、地域に伝わる文化を継承することから、新たに生まれてくる文
化、発展させていきたいという考えに基づいています。

このたびの手塚誌発刊の取組に敬意を表すとともに、文化の薫る地域の未来、そして上田市の未来へと繋がってい
し上げ、挨拶いたします。

平成二十五年五月吉日